

2025-2026 年度 部長方針・活動計画

瀬戸山陰部 部長 福永 君二

1. 部長主題

地域に根差し、タレントを活かして社会の必要に応えよう。

～ 仲間を増やすことに、躊躇はいらない ～

2. 活動方針

瀬戸山陰部の各クラブは、メンバー数の停滞や高齢化などによって、その情勢は、西日本区の中で最小の状況に置かれています。

各クラブとも当然、会員増強は喫緊の課題ですが、数を増やすことを目的とするのではなく、各クラブがこれまで継続している地域奉仕や YMCA サービス, YMCA との共同事業が、地域に望まれ必要とされていることを再確認し、ワイズメンズクラブの存在意義を再認識することが、クラブメンバーの満足度をより高め、ひいては、会員増強につながるものと信じます。

仲間を増やすことに躊躇はいりません。

- ① 私たちの活動の意義と存在価値を私たちの言葉で自信をもって語ろう。
- ② ワイズメンズ活動の賛同者と応援団を開拓しよう。
- ③ 自分の友人・知人を連れて例会に参加しよう。
- ④ 私がいるから大丈夫。

人とのつながりがワイズ活動の原点です。恥ずかしがらず、胸を張って仲間を増やしましょう。

神様から与えられているタレント（能力・社会的責務）を十分に発揮し、皆が元気で力を合わせ前向きに活動し続ければ、元気な瀬戸山陰部となれるはずです。そして、ワイズメンズの皆さんと交流することの楽しさを皆で共有したいと思います。

区からの情報は、部長から各クラブ会長に直接伝達することにより主査業務を軽減し、部運営の省力化を行い、各クラブが各自の活動に注力できるようにしたいと思います。

3. 活動計画

Y サ・ユース事業

- ・YYY フォーラムの開催（岡山または姫路）
- ・Y サ・ユース献金の達成
- ・ユース支援（2025 年 8 月のアジアユースコンボケーションへのリーダー派遣の援助）

地域奉仕・環境事業

- ・各クラブの地域から期待されている継続的な事業を推し進める。
- ・瀬戸山陰部 4 クラブに呼びかけ共働の事業を企画する。
- ・地震や豪雨災害復興支援など災害復興支援を地域奉仕事業と捉え、YMCA と協働する。
- ・国際事業のロールバックマラリアを積極的に進める。
- ・CS、TOF、FF 献金の達成

EMC 事業

- ・各クラブの実働会員 10 名以上を目標
- ・例会の活性化（ゲストスピーカー等）で既存会員の意識向上を図る。
- ・ゲストの参加しやすい例会を企画し例会充足率を高める。
- ・友人・知人を積極的に例会に誘う。

国際・交流事業

- ・DBC 締結クラブとの交流を積極的に推進し、交流の楽しさを共有する。
- ・部会や区大会への積極的な参加を推進する。

（メネット事業）

- ・ファミリーで参加する行事を積極的に行う。
- ・部会でのメネットアワー開催（記念講演をメネットアワーに位置付ける。）

4. 部行事予定

評議会（予定）

第1回 2025年7月19日（土）ZOOM開催 開催時間は調整

第2回 2026年3月28日（土）ZOOM開催 開催時間は調整

部会

2025年11月15日（土）

会場：由志園＜松江市八束町（大根島）＞

15：00～19：00

ライトアップされた紅葉の日本庭園を鑑賞できます。

記念講演をメネットアワーに位置付けます。

交流会を同時開催

宿泊希望者には、宿の手配と21日（日）に松江・境港・美保関から穴場のご案内をいたします。

5. その他の計画・特記事項愛情

6. 部役員

役 職	名 前	所属クラブ	役 職	名 前	所属クラブ
部長	福永 君二	米子	担当主事	矢野 正博	米子
次期部長	竹内 芳江	姫路グローバル	代議員	長壽 和子	岡山
直前部長	長壽 和子	岡山	代議員	福永 君二	米子
書記	野口 純一	米子	監事	山本 和生	姫路
会計	野口 純一	米子			
事務局長	矢野 正博	米子			

7. 事業主査

事 業	名 前	所属クラブ
Yサ・ユース	矢野 正博	米子
地域奉仕・環境	乗本 業文	米子
E M C	福永 君二	米子
国際・交流	早川 悟	米子

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
姫路	八杉 光春
岡山	三浦 信彦
姫路グローバル	竹内 芳江
米子	野口 純一